

# ヒカキ 千カセイ



## 田植えシーズン到来! 笑顔輝く農ガール!

県内有数の米どころ筑西市では、4月から5月にかけて各地で田植えが盛んに行われました。

農業従事者の高齢化や担い手不足が問題となる中、市内小栗には農業に取り組んでいる若い女性があります。田植え作業真っ最中の「農ガール」こと小林美由樹さんを訪ね、お話を伺いました。

### 農業との出会いは?

家が専業農家で、幼いころから農業は身近なものでした。よく田んぼや畑に行き、米の収穫時にはコンバインに乗せてもらいました。

中学3年生のころ、進路に悩んでいたとき、父に農業高校への進学を勧められたことが本格的に農業の道に進む

うと思ったきっかけです。高校で農業の楽しさに出会い、茨城県立農業大学校へ進学しました。卒業後に家業を継ぎ、今年で8年目を迎えます。

### 農業の楽しさについて教えてください

手塩にかけて育てたものを収穫することが何より楽しいです。また、自分

## 小林 美由樹さん (小栗)

田植え機の運転はお手のもの。コンバインやトラクターの運転もこなします。米以外にも、麦や大豆を栽培しています。

が作ったものを美味しいと言ってもらえると励みになります。

県内に目を向ければ同年代の女性の農業仲間もいるのですが、市内にはないので、農業の楽しさを若い年代にもわかってもらい、仲間ができたらうれしいですね。

### 今後の目標は何ですか?

家族の中でも父の存在は大きく、父のような生産者・経営者になることが目標です。今は父に頼りきりですが、10年後を考えたとき、自分で経営まで管理できるようになりたいと思います。父から、いろいろなことを吸収していきたいです。

農業の魅力は、手をかけたただけ作物が応えてくれること